

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	人工知能を用いた整形外科画像検査の自動計測法確立・診療支援ツール開発に関する研究 (B25-027)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部整形外科学 診療准教授 宮城正行
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	北里大学未来工学部 教授 榊原康文
本研究の概要・背景・目的	<p>近年の整形外科診療の多様化、細分化にともない、多彩な診療に対応しなければならないことが増加しております。特に骨粗鬆症、脊柱変形の診療の分野では様々な診断基準や尺度が次々と開発され、整形外科医は常に対応していかなければならないのが現状です。そのため、日々進化する医療に対応するためのアシスタントツールを開発することが重要です。</p> <p>人工知能は近年様々な分野に活用されるようになり、医療現場においても更なる活用がのぞまれております。整形外科分野の医療画像解析は人工知能の最も活躍が期待できる分野の一つであり、特に骨粗鬆症、脊柱変形診療では多くの画像検査を用いて診療・治療を行っているため、その一部を人工知能の自動解析によってサポートすることができれば、診断の向上だけでなく臨床医の負担軽減に繋げられるものと考えられ本研究を計画しました。</p> <p>本研究の目的は、脊椎画像評価を行った骨粗鬆症、脊椎疾患の患者さんを対象として、骨粗鬆症診療、脊椎外科診療に用いる様々なパラメータを人工知能によって自動計測するサポートツールならびに骨粗鬆症診療支援ツールを開発することです。</p>
調査データ 該当期間	2015年1月1日から2025年3月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	上記期間内に骨粗鬆症または脊椎疾患に対して単純X線検査、CT検査が行われた方
研究の方法 (使用する試料等)	<p>利用する情報</p> <p>2015年1月1日から2025年3月31日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データ、画像データを利用します。</p>
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	<p>多施設共同研究であり、上記の他の研究機関・研究責任者へ記録媒体に格納し、提供</p> <p>提供元機関の名称及び機関長の氏名 北里大学病院・病院長 山岡邦宏</p>
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>本研究の遂行のための費用は、整形外科学医局研究費、精神・神経疾患研究開発費を使用します。 研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：整形外科学・診療准教授 担当者：宮城正行（ミヤギマサユキ） 電話：042-778-8111</p>
<p>備考</p>	